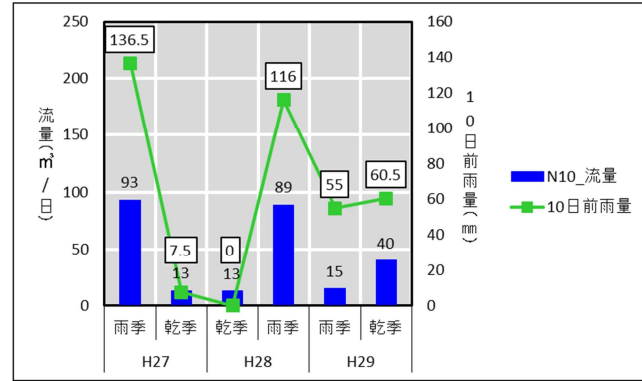
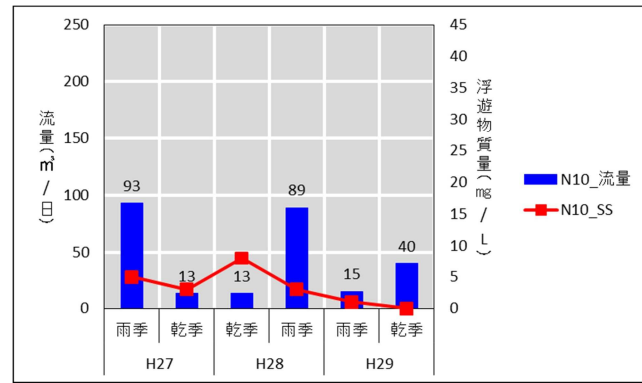
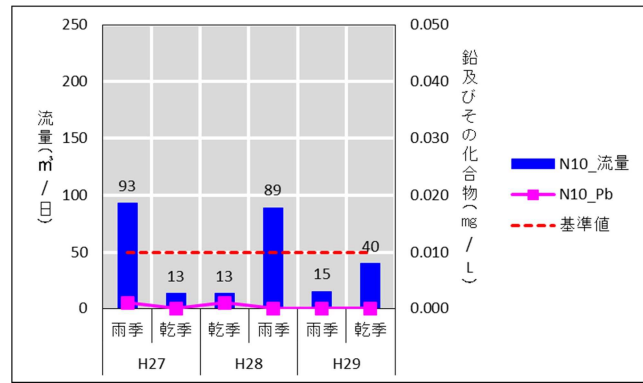


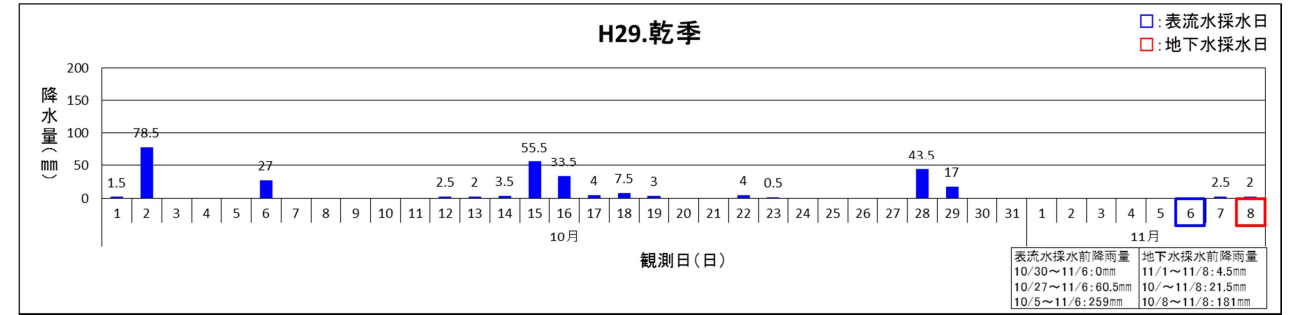
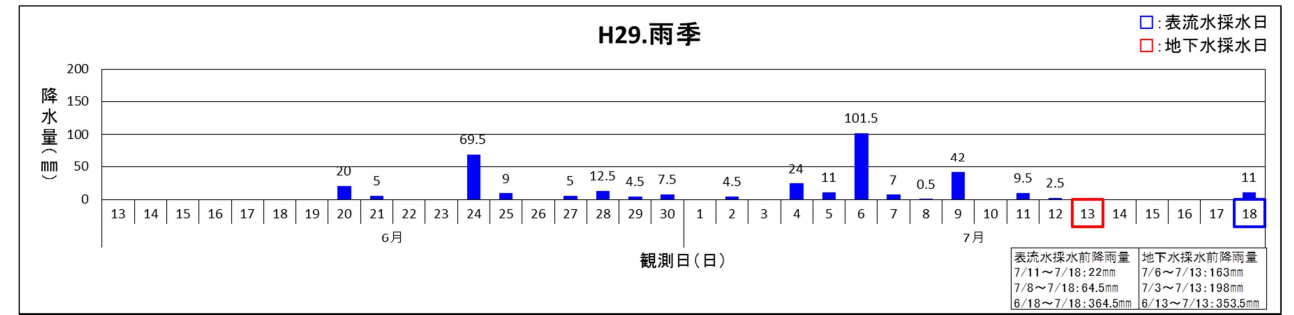
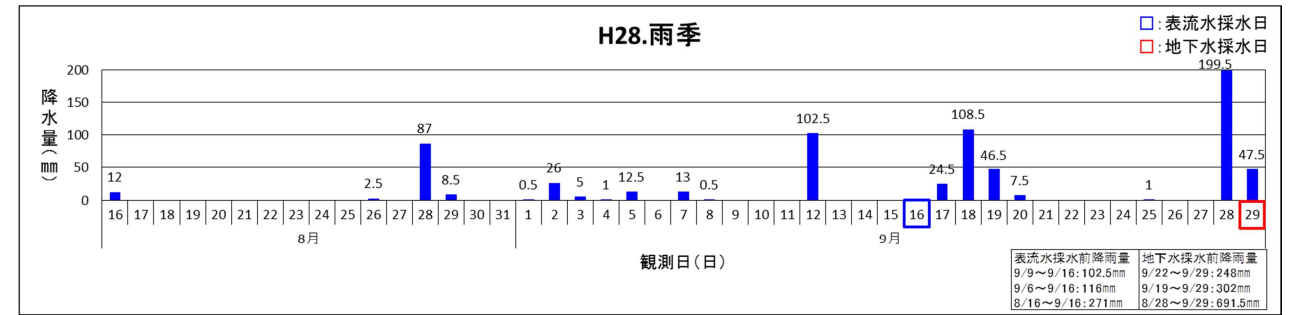
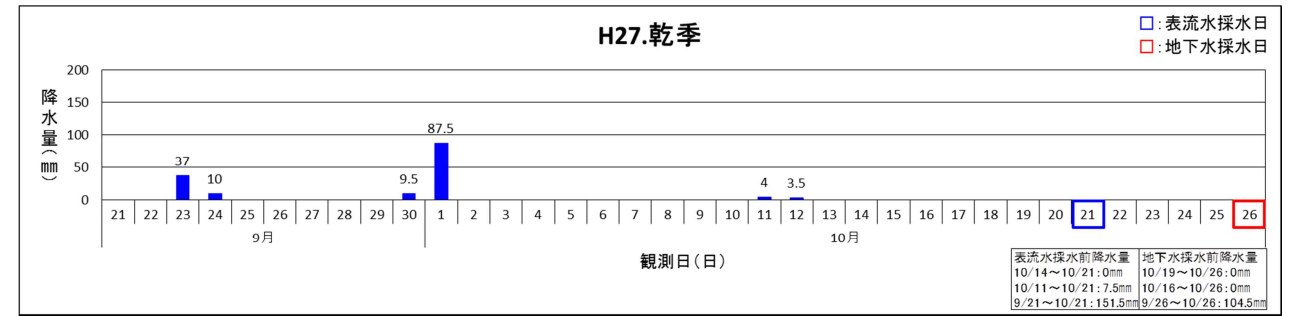
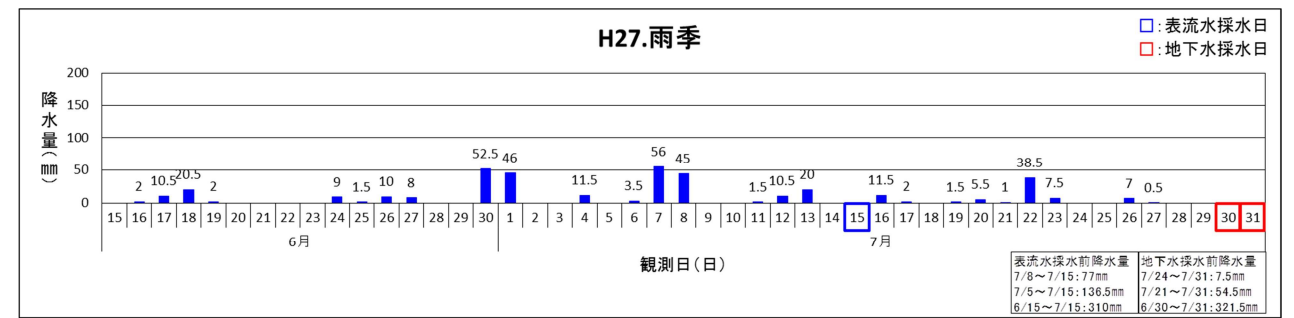
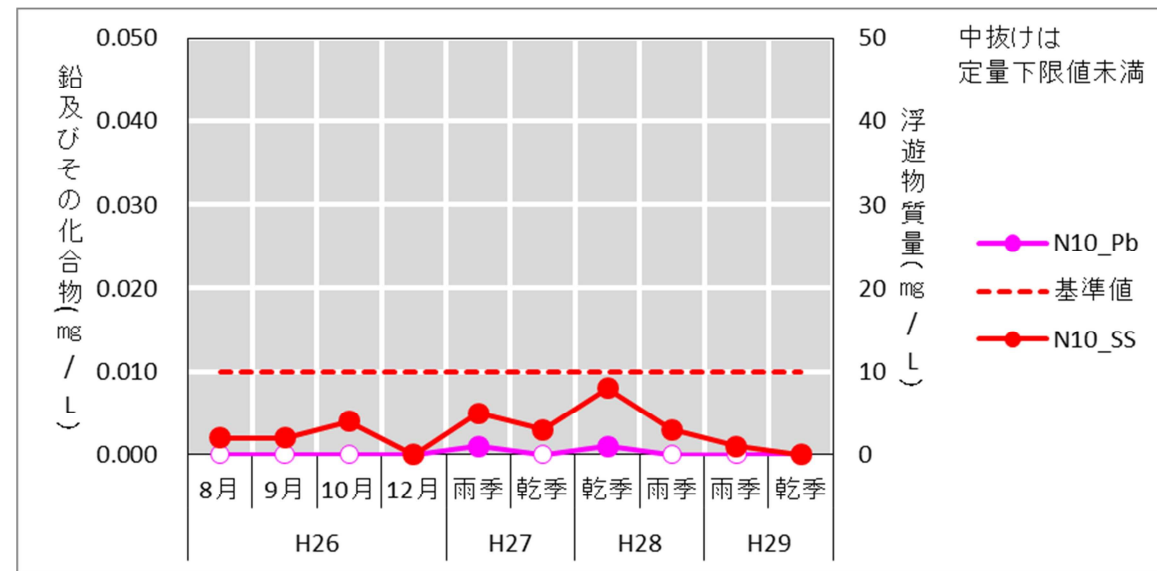
N10 地点



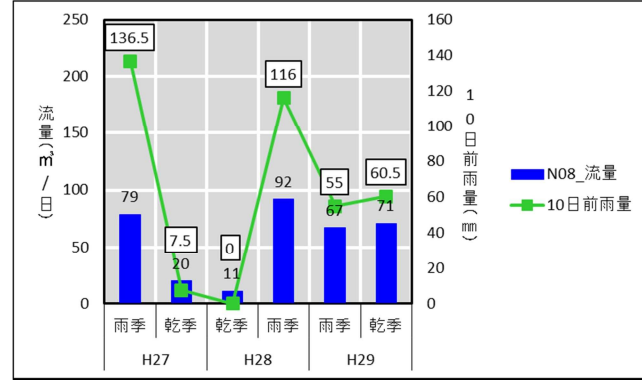
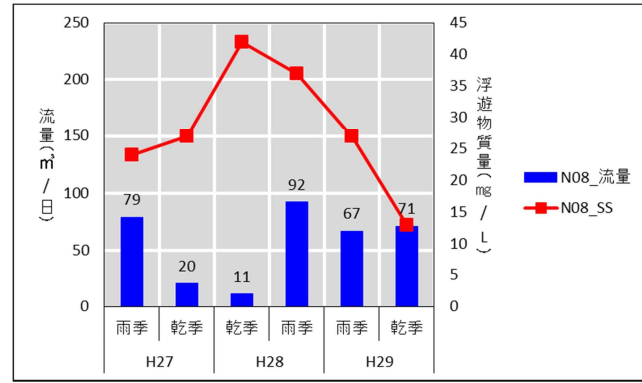
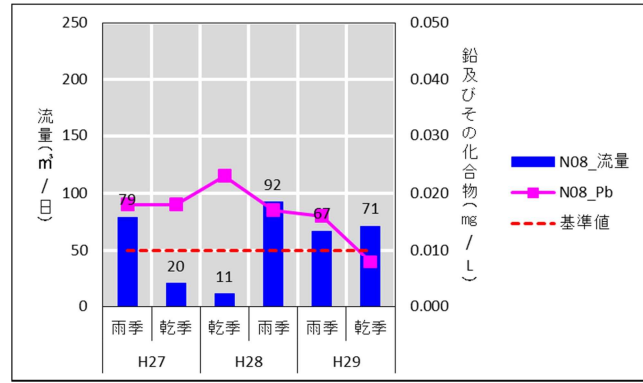
N10 地点は、これまでの調査で参考としている基準値を満足している。H27 年雨季と H28 年乾季に鉛が 0.001mg/L、SS がそれぞれ 5 mg/L と 8 mg/L となっており、鉛が増加している時に SS も増加していることから両者は相関関係があるとみられる。

流量と雨量に関しては、おおむね増減が類似している。H29 年雨季は H27 年雨季・H28 年雨季と比べると流量が少ない。これは H29 年雨季の雨量が少なかったことが要因と考えられる。

項目	N10										基準値
	H26				H27		H28		H29		
採水日	8/25	9/28	10/31	12/8	7/15	10/21	8/9	9/16	7/18	11/6	—
pH	6.4	6.4	6.6	7.4	6.6	6.4	6.7	6.4	6.6	6.9	—
Pb	N.D	N.D	N.D	N.D	0.001	N.D	0.001	N.D	N.D	N.D	0.01 以下
SS	2	2	4	N.D	5	3	8	3	1	N.D	25 以下



N08 地点



N08 地点は、H26 年 8 月と 12 月、H29 年乾季以外の時期で参考としている基準値を超えており、流量の少ない時期に最も高く検出 (H28 年乾季) されている。鉛と SS は、増減のタイミングが重なっていることから、両者には相関関係があると考えられる。

流量と雨量に関しても、両者の増減傾向が類似している。

項目	N08										基準値
	H26				H27		H28		H29		
調査日											
採水日	8/25	9/28	10/31	12/8	7/15	10/21	8/9	9/16	7/18	11/6	—
pH	7.1	7.0	6.9	7.0	7.6	7.4	7.1	7.1	7.2	7.4	—
Pb	0.007	0.012	0.019	0.006	0.018	0.018	0.023	0.017	0.016	0.008	0.01 以下
SS	8	15	32	9	24	27	42	37	27	13	25 以下

